



西風

西諫早としょかんだより【No.302】

■ 2022年7月号 ■

スマートフォン用



〒854-0074 諫早市山川町 1-3

諫早市立西諫早図書館

HP: <https://www.lib.isahaya.nagasaki.jp/>

TEL: 0957 (26) 8607 FAX: 0957 (26) 8250

第167回 芥川賞・直木賞候補作

芥川賞候補作

「家庭用安心坑夫」	小砂川 チト	(「群像」6月号)
「ギフトッド」	鈴木 涼美	(「文藝春秋」6月号)
「おいしいごはんが 食べられますように」	高瀬 隼子	(「群像」1月号)
「N/A」	年森 瑛	(「文藝春秋」5月号)
「あくてえ」	山下紘加	(文藝夏季号)

直木賞候補作

「絞め殺しの樹」	河崎 秋子	(小学館)
「夜に星を放つ」	窪 美澄	(文藝春秋)
「爆弾」	呉 勝浩	(講談社)
「女人入眼」	永井 沙耶子	(中央公論新社)
「スタッフロール」	深緑 野分	(文藝春秋)

選考委員会は7月20日(水)開催です。

図書館カレンダー (7月)



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

ご協力を
お願いします

図書館内での水分補給は…

- ①閲覧席に座って
 - ②ふたが閉められる容器で
 - ③飲む時以外はバッグの中へ
- ※食事(菓子、アイスクリーム等を含む)は、
ご遠慮ください。

新着図書

この他にもたくさんあります！貸出中の本には予約ができます。

『僕とアリスの夏物語』	谷口 忠大/著	岩波書店
『世界の見方が変わる ギリシア・ローマ神話』	庄子 大亮/著	河出書房新社
『カラーでよみがえる軍艦島』	風来堂/編	イーストプレス
『アメリカの高校生が学んでいる 経済の教室』	デーヴィッド・A・メイヤ-/著	SBクリエイティブ
『不自然な死因』	リチャード・シェパード/著	大和書房
『おうちでできる世界のおそうざい』	荻野 恭子/著	河出書房新社
『路面電車大百科』	西森 聡/著	天夢人
『竹馬練習百科』	齋藤 仁/編著	叢文社
『広重ぶるう』	梶 よう子/著	新潮社
『ベイルート 961 時間』	関口 涼子/著	講談社

今月の展示



▷ 小説

ホラー・怪談 特集

ゾクッ、ヒヤッとする物語はいかがですか？



明野照葉、綾辻行人、井上夢人、岩井志麻子など
ほか多数あります。

▷ 実用書

- ☆ 写真で世界を巡る 📷
- ☆ 夏の手づくり
- ☆ おとなも自由研究！
- ☆ 洋書を楽しみませんか？ 📖



図書館員おすすめの一冊



『絵のない絵本』

ハンス・クリスチャン・アンデルセン/作 岩波書店

世界で最も有名な童話作家の一人、アンデルセン。

アンデルセンの童話は、200年以上もの長い間読み継がれ、親しまれてきました。『人魚姫』や『マッチ売りの少女』『みにくいアヒルの子』など誰もが幼い頃に聞いたことのあるおはなしではないでしょうか。私たちに馴染み深いもの以外にもたくさんの童話があります。その中の一つ、『絵のない絵本』は、生涯旅を好んだアンデルセンの旅先での体験が多彩に織り込まれた短編集です。

ある夜、貧しい絵描きの若者が悲しい気持ちで窓辺に立っていると、月の光が差し込んできます。窓を開いて外を見ると、故郷で見た懐かしい月の姿がみえました。月は毎晩、若者を訪ね世界中で見たことを話してくれます。ある夜は、インドのガンジス河。美しいインド娘が恋人の無事を炎にたくして祈りをささげるはなし。またある夜は、フランスの革命で勇敢に闘い死んでしまった少年のはなし。一夜から三十三夜まで月が語ってくれたはなしは、多種多様でアンデルセンの豊かな表現力と想像力が散りばめられています。

1953年に出版された岩波文庫『絵のない絵本』を底本とし、新たに出版されました。本の装丁も美しく、水彩画の挿絵があり物語の雰囲気を楽しむことができます。

大人になってまたもう一度、アンデルセンの童話の世界を楽しんでみませんか。

(1)

